



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社 ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,719	2.3	284	0.2	289	0.8	201	2.9
2022年3月期第2四半期	4,612	5.2	284	4.4	287	4.7	196	3.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	138.85	
2022年3月期第2四半期	134.87	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,332	2,563	48.1
2022年3月期	5,373	2,429	45.2

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 2,563百万円 2022年3月期 2,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		50.00	50.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	0.9	537	6.4	543	6.3	370	6.9	254.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,454,000 株	2022年3月期	1,454,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	株	2022年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,454,000 株	2022年3月期2Q	1,454,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、エネルギー価格の高騰が続いており、電気料金の度重なる値上げにより家庭も企業も大きな負担を強いられています。加えて、急激な円安の影響により、食料品から日用品に至るまで様々なものの物価が上昇しており、消費が抑制されている状況が続いております。

当社が属するパソコン市場においては、コロナ禍において需要拡大した一般用途パソコンの反動減により販売が厳しい状況で推移しております。一方、eスポーツ関連のパソコン、モニター、デバイス及びゲーミングチェア等の品揃えを強化することで売上高の増加に繋がりました。専門店としての商品知識とスタッフ自らの経験談を交えた提案ができることが、優位性となっております。

加えて当社の強みであります顧客ニーズに合わせたサポート事業では、ゲーミングユーザー向けのメニューを追加し、収益性が更に向上致しました。

その他、静岡県内においては県立高等学校向けGIGAスクール構想を実現するための導入支援として、生徒向けの販売活動にも取り組んでおります。

対して前事業年度に好調であったグラフィックボード販売においては、マイニング等のニーズ減から大きく売上高が減少致しました。

以上の結果、パソコン事業全体の売上高は2,555,686千円（前年同期比7.2%減）となりました。

バイク事業においては、店舗から通信販売へのシフトが進むと共に、インカム等の高単価商材の供給不安定により、売上高に大きく影響致しました。

以上の結果、バイク事業全体の売上高は170,341千円（前年同期比12.0%減）となりました。

インターネット通信販売事業においては、バイク用品の売上高が前年同期比27.2%の大幅増加となり全体の実績を牽引しました。特にヘルメットやバッグ等の販売が好調でした。また、ゲーミング関連の周辺機器や実況等で使用される音響機材、家具・インテリア商品の販売拡大も実績に寄与しております。

以上の結果、インターネット通信販売事業の売上高は1,873,762千円（前年同期比13.3%増）となりました。

その他、不動産事業の売上高は119,605千円（前年同期比895.1%増）となりました。今期より新たに立ち上げた事業ではありますが、早期に実績が上がっております。

経費に関しては、電気料金の高騰により光熱費が増加しており、収益を圧迫しております。その他にも物価高騰の影響等により、経費は増加しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績については、売上高4,719,396千円（前年同期比2.3%増）、経常利益289,869千円（前年同期比0.8%増）、四半期純利益201,892千円（前年同期比2.9%増）となり、非常に厳しい経営環境の中ではありますが、増収増益を達成することができました。

なお、新型コロナウイルス感染症に伴う当社の業績に関して、現時点においては収束時期を確実に見通せる状況にありませんが、各店舗における感染防止対策の徹底により現時点で当事業年度における影響は軽微であります。今後、感染拡大により臨時休業や営業時間の短縮等が余儀なくされた場合には、売上高が減少して業績に大きな影響が出る可能性があります。その他、サプライチェーンに影響が出た場合、当社の想定通りに商品調達ができなくなることで売上高が減少する可能性もあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて41,249千円減少し、5,332,548千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が130,274千円、売掛金が238,924千円それぞれ減少し、商品が307,599千円、販売用不動産が62,672千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて174,944千円減少し、2,769,336千円となりました。その主たる要因は、買掛金が159,737千円、未払金が53,172千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて133,694千円増加し、2,563,212千円となりました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は48.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,173,620	1,043,346
売掛金	636,911	397,986
商品	1,708,778	2,016,378
販売用不動産	—	62,672
その他	176,230	153,058
貸倒引当金	△2,833	△1,525
流動資産合計	3,692,707	3,671,916
固定資産		
有形固定資産		
土地	859,758	859,758
その他(純額)	199,540	197,848
有形固定資産合計	1,059,298	1,057,607
無形固定資産	17,015	17,671
投資その他の資産	604,775	585,353
固定資産合計	1,681,090	1,660,632
資産合計	5,373,798	5,332,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	952,136	792,398
1年内返済予定の長期借入金	571,674	554,950
未払法人税等	76,935	99,236
賞与引当金	31,077	29,682
契約負債	265,717	276,206
その他	156,233	97,980
流動負債合計	2,053,775	1,850,455
固定負債		
長期借入金	785,500	815,534
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	100,872	99,214
固定負債合計	890,505	918,881
負債合計	2,944,280	2,769,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,774,117	1,903,310
株主資本合計	2,429,857	2,559,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△339	4,162
評価・換算差額等合計	△339	4,162
純資産合計	2,429,517	2,563,212
負債純資産合計	5,373,798	5,332,548

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,612,249	4,719,396
売上原価	3,436,527	3,483,753
売上総利益	1,175,722	1,235,643
販売費及び一般管理費	891,487	950,854
営業利益	284,234	284,789
営業外収益		
受取手数料	4,427	3,452
その他	1,085	3,398
営業外収益合計	5,512	6,851
営業外費用		
支払利息	2,085	1,770
その他	51	0
営業外費用合計	2,136	1,771
経常利益	287,610	289,869
特別利益		
固定資産売却益	341	2,287
特別利益合計	341	2,287
特別損失		
減損損失	4,300	—
特別損失合計	4,300	—
税引前四半期純利益	283,651	292,157
法人税等	87,538	90,264
四半期純利益	196,113	201,892

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。